

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 泉台 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

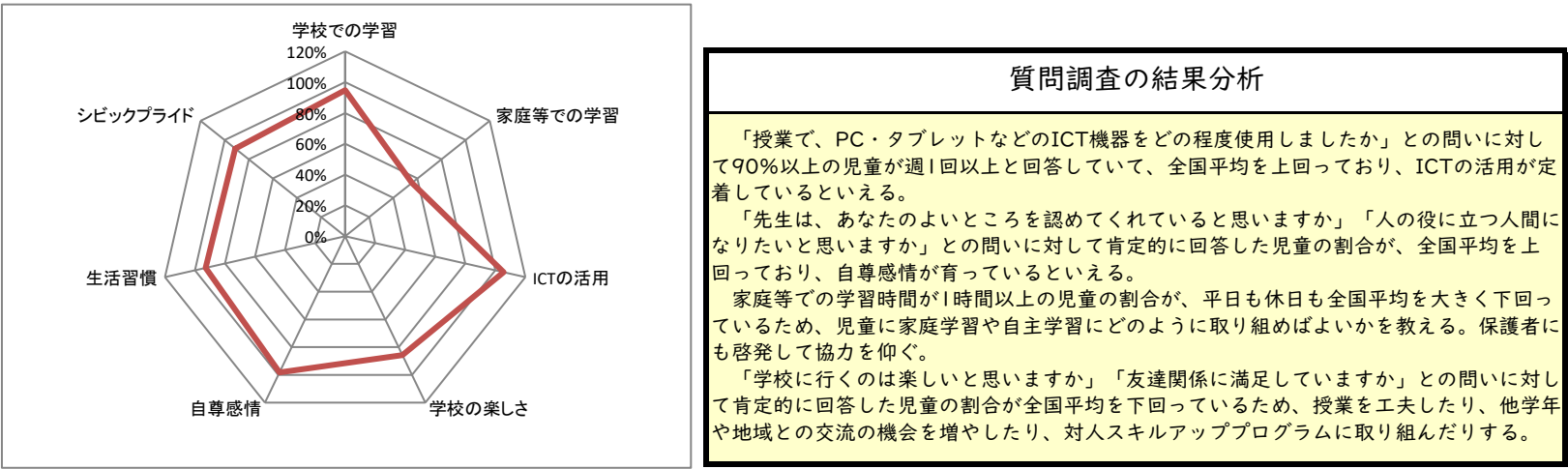
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	本校の平均正答率は、本市・全国の平均正答率を下回った。「読むこと」の問題の平均正答率が最も高く、全国平均正答率を上回った。「話すこと・聞くこと」の問題の平均正答率が最も低く、全国平均正答率を下回った。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題	下回っている
	努力が必要な問題	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題	

算数	全体的な傾向や特徴など	本校の平均正答率は本市の平均正答率を上回ったが、全国の平均正答率を下回った。「図形」の領域の平均正答率が最も高く、全国と同じであった。「変化と関係」の領域の平均正答率が最も低く、全国平均正答率を下回った。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる問題	下回っている
	努力が必要な問題	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・ 国語については、「話すこと・聞くこと」に関する力を育むために、話し合い活動に重点的に取り組む。
- ・ 算数については、「変化と関係」の領域の学習に重点的に取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・ 家庭等での学習時間に課題があるため、児童にこれまで以上に家庭学習や自主学習の大切さを伝えていく。
- ・ 学校が楽しいと思う児童が増えるようように、これまで以上に授業の工夫等を行う。